

WAVE TIMES

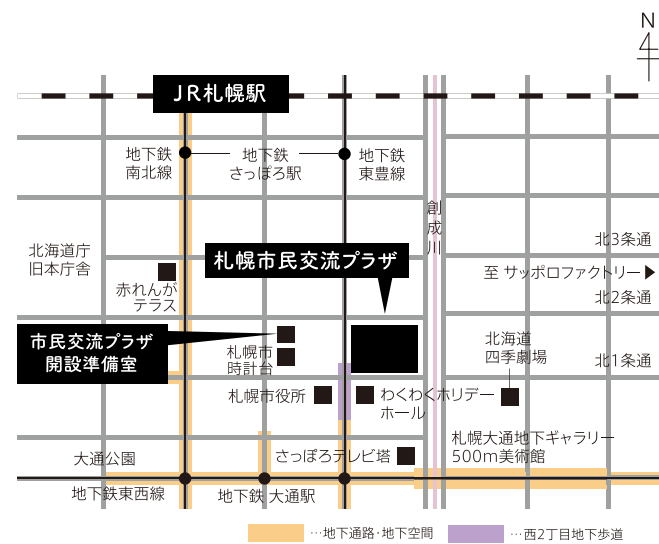
札幌市民交流プラザ情報誌 vol.2

動きだす。
マチが、
ココロが、



札幌市民交流プラザ

SAPPORO COMMUNITY PLAZA



地下鉄「大通」駅直結！

札幌市中央区北1条西1丁目
さっぽろ創世スクエア
(札幌創世1.1.1区北1西1地区再開発ビル・建設中)

札幌市民交流プラザ 情報誌 vol.2 発行 2017年10月16日
発行元
公益財団法人 札幌市芸術文化財団 市民交流プラザ開設準備室
〒060-0001
札幌市中央区北1条西2丁目1番地 札幌時計台ビル10階
TEL:011-242-5800 (8:45~17:15) ※土日祝・年末年始を除く
©本誌からの写真・文などの無断転載を禁じます



札幌文化芸術劇場
hitaru
こけら落とし公演「アイダ」
指揮者
アンドレア・
バッティストーニ



札幌市民交流プラザ

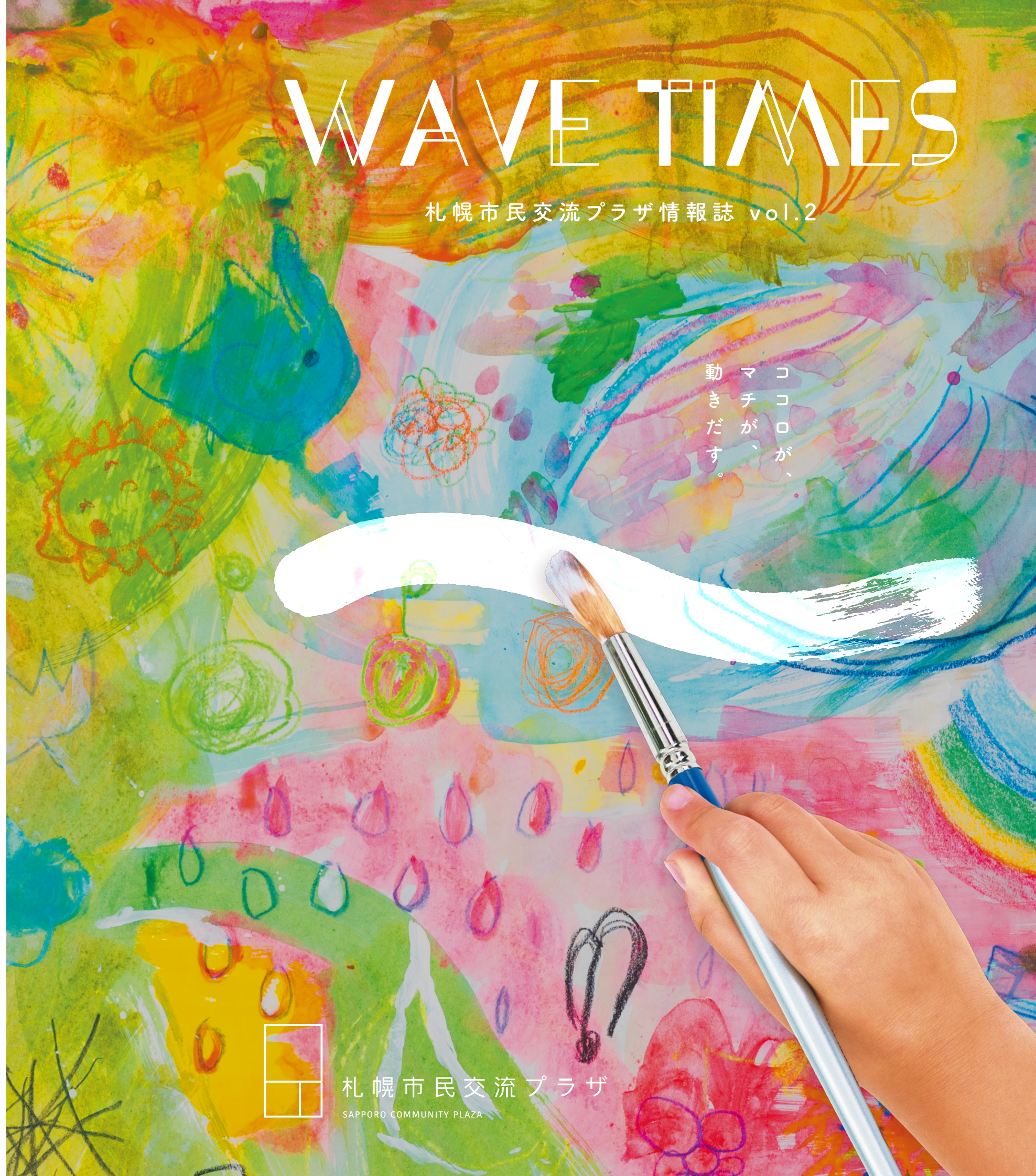


<http://sapporo-community-plaza.jp>



札幌市民交流プラザ

SAPPORO COMMUNITY PLAZA



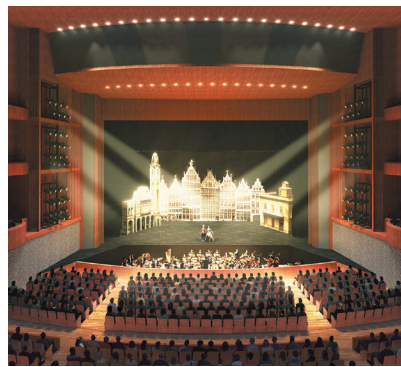
劇場の愛称が決まりました

『札幌文化芸術劇場』の愛称

hitaru

(ヒタル)

たくさんの
ご応募ありがとうございました。



劇場に集う皆さんが文化芸術を心から楽しみ、深く味わっている、そんな情景が浮かぶ愛称「hitaru」。札幌市民が思う存分、芸術に「hitaru(ひたる)場」という、応募者の思いが込められ、さらに『札幌文化芸術劇場』が市民に感動と喜びをもたらし、心豊かな生活を実現する場であって欲しいという期待が表現されています。「hitaru」は「hito+aru」、つまり「ひとがある」。人々が集まり、世代を超えて文化芸術に触れ、感動を共有する場所、それが『札幌文化芸術劇場 hitaru』です。

〈受賞者〉 下國 順子(しもくに じゅんこ)さん・札幌市
 〈募集期間〉 2017年5月15日から2017年6月16日
 〈応募数〉 2,699通

ロゴマーク、できました



札幌市民交流プラザ

SAPPORO COMMUNITY PLAZA

市民の
創造的活動の
ために。

札幌市民交流プラザを構成する『札幌文化芸術劇場』『札幌文化芸術交流センター』『札幌市図書・情報館』の3施設の立体的な配置を、シンプルな黒の線と黄金比の四角形の組み合わせで表現。子どもからお年寄りまであらゆる世代に受け入れられやすく、また、あえて色付けしないことで、文化芸術の多様性や市民一人ひとりの価値観の違いを認め合える施設に、との願いを込めました。

『札幌文化芸術劇場』

『札幌文化芸術交流センター』

『札幌市図書・情報館』

すべての施設で、
このロゴマークを使用します。



札幌文化芸術劇場
hitaru
SAPPORO CULTURAL ARTS THEATER



札幌文化芸術交流センター
SCARTS
SAPPORO CULTURAL ARTS COMMUNITY CENTER



札幌市図書・情報館
SAPPORO MUNICIPAL LIBRARY AND INFORMATION CENTER

「ひと・もの・こと」をつなげる新しい空間です

『札幌文化芸術交流センター』の呼称

SCARTS

(スカーツ)

たくさんの
人々に
親しみやすく。

SCARTSコート



SCARTSスタジオ



『札幌文化芸術交流センター』の英語表記である「Sapporo Cultural Arts Community Center」をアレンジ。札幌の文化芸術資産である「ひと・もの・こと」をつなげ、札幌の文化芸術を支え、育てていくことを目指して「Arts」部分を強調して表現しました。

※P5の施設紹介をご覧ください。

札幌文化芸術劇場の公募企画事業決定!

『札幌文化芸術劇場』では、2018年10月の開館から1年間のオープニングシリーズと一緒に盛り上げていく事業を募集しました。応募いただいた企画の中から、下記5公演が採用となりましたので、お知らせいたします。

■2018年10月14日(日) バレエ
公益社団法人 日本バレエ協会「第39回全道バレエフェスティバル・イン・サッポロ」

■2018年12月15日(土) バレエ
札幌舞踊会「カルミナ・ブラーナ」

■2019年2月11日(月・祝) 映像、音楽、演劇、ダンス等
PRIMITIVE実行委員会 「PRIMITIVE」

■2019年3月10日(日) オペラ
北海道二期会「イル・トロヴァトーレ」

■2019年9月15日(日) ダンス
北海道ダンスプロジェクト「HDP DANCE PREMIUM 2019」

皆様ご応募ありがとうございました。
公演に関連した
ワークショップやレクチャーなどの企画も予定しています。

市民交流プラザ開設準備室
文化芸術劇場事業課
清宮 寛子さん



※日程は変更になる可能性があります。

「アイダ」の世界でお目にかかりましょう。

札幌市民交流プラザに誕生する札幌文化芸術劇場は、来年10月、こけら落とし公演を行います。指揮は、いま世界で最も注目される若手指揮者、アンドレア・バッティストーニさん。去る9月、札幌交響楽団との共演で初来札したマエストロに公演への意気込みなどをうかがいました。



指揮者
アンドレア・バッティストーニ
ANDREA BATTISTONI

——開幕を飾る「アイダ」の観どころ聴きどころを教えてください。

「アイダ」は、すべてのイタリア音楽の中でもっとも重要な作品のひとつです。これを新しい劇場の最初のプログラムとして、本格的な形で札幌の皆さまにご覧に入れるのですから、こんなに名誉でうれしいことはありません。古代エジプトを舞台にした「アイダ」は、まず色彩感にあふれた壮大なスペクタクルです。巨大な神殿の空間に大規模な合唱があり、エキゾチックで躍動的なバレエも見逃がせません。その上で、

単に大がかりな世界観があるだけでなく、男と女のあいだの普遍的問題である三角関係を主題にした、人間のデリケートな心の内側を繊細に描いた心理劇でもある。こうした深みが、この作品に傑作たるにふさわしい魅力をもたらしているのです。

——オペラやクラシック音楽はよくわからないと感じている市民も多いのですが。

実は少年時代の私もそうでした。札幌市民のみなさんにとっては、これが初めて観る本格的なオペラ、という方が多いと聞

プロフィール

1987年北イタリアのヴェローナ生まれ。2006年より指揮活動をはじめ、ベルリン・ドイツ・オペラ、ドレスデン州立歌劇場などヨーロッパの主要な歌劇場やオーケストラのコンサートに出演。2012年ミラノ・スカラ座に史上最年少デビュー。16年10月からは東京フィルハーモニー交響楽団の首席指揮者に就任。17年9月、札幌交響楽団と共演のために初来札。来秋の札幌文化芸術劇場のこけら落とし公演を指揮する。

いています。そんな皆さまが最初に観るのに最もふさわしいオペラのひとつが、総合芸術であるオペラの魅力のすべてが凝縮

された、この「アイダ」だと思います。

少年時代の私はピアニストである母に、半ば強制されながらチェロを練習していました。でもあるときベルリオズの波乱の人生の事を知り、「幻想交響曲」に夢中になりました。ちょうどそのころ自分が失恋したことも影響して、音楽を、強制からではなく自分のものとして真剣に学ぶようになりました。みんな違う心を持っているのですから、音楽の受け止め方は人によって違って当たり前です。逆にいえば音楽は、人はみな違うということに気づかせてくれる。しかし一方で人は、みんなが共通もっている喜びや苦しみ、悲しみといった感情にも思い至ることになります。私たちの社会に様々な音楽や芸術が必要な意味、理由はそこにあると思います。



9月15日「札幌文化芸術劇場」プレイベントとして、札幌コンサートホール kitaraにて札幌交響楽団と公演。多くの観客を魅了した。

「フォルテ（強く）」や「カンタービレ（歌うように）」など、主な音楽用語がイタリア語であるように、イタリア人にはクラシック音楽はイタリアで生まれたのだ、という意識があります。いわばイタリアという国の根幹に音楽があるわけで、その意味でも私は、特にオペラやクラシック音楽に縁が薄い若い人たちに向けて、その価値や魅力を伝えていきたいと強く思っています。

——札幌にもついに本格的な劇場が誕生します。イタリアの人々にとって劇場とはどんな存在でしょうか？

イタリア全土には、古代ローマ時代の劇場の遺跡がたくさんあります。私のふるさとヴェローナにある古代の大きな円形劇場では、夏の夜に大規模な野外オペラが開かれています。イタリアでは、古代にさかのぼる歴史の上にオペラなどがさまざまに発展を重ねて各地に劇場が作られ、劇場に行くという習慣が育まれていきました。

とくにヴェルディらのオペラの偉大な作曲家たちが活躍した19世紀以降、都市にとって劇場は文化のシンボルであり、人々の生活の質を高めるために欠かせない場となっていきました。古代ローマの時代、劇場は日常を離れた神聖な場で、演劇では悲劇や喜劇が上演されましたが、それは人々に、人間の深い本質にふれるような体験を提供しました。

一方で今日のオペラにもそうした要素は共通しています。オペラ作品の多くもまた、日常から離れて悲劇や喜劇といった人間の普遍的な感情や精神をテーマにしています。だからこそ時代を越えて観る人の魂をゆさぶり、心を豊かにしてくれます。イタリア人の多くは、劇場でオペラやコンサートを楽しむことが生きていくことの拠り所や誇りであると信じています。オペラをはじめ



さまざまな舞台芸術が繰り広げられる劇場が新しくできることは、札幌の未来にとって計り知れない価値のある出来事だと思います。

札幌文化芸術劇場は、音響に優れたモダンな劇場ですね。日本の現代的な音楽環境は、ヨーロッパのオペラやクラシック音楽にとっても良い刺激を与えてく

れます。来年の秋、オーケストラやソリストをはじめ日本のたくさんのプロフェッショナルたちと力を合わせて、私は皆さまにヴェルディの「アイダ」をご覧に入れます。どうぞご期待ください。お目にかかることを本当に楽しみにしています。

(2017年9月14日 札幌コンサートホールKitaraにて。インタビュー・構成／谷口雅春、通訳／石田咲子)



劇場の建設現場を視察。ステージを興味深く見上げる。

施設紹介

創造的な活動で街ににぎわいを!

札幌文化芸術交流センター SCARTS

SCARTSコート(オープンスタジオ)は、人々が集う「中庭(コート)」をイメージし、コンサートや講演会、可動式の展示パネルを活用した作品展など、発表や交流の場として利用可能。さらに音や光を遮る可動壁を設け、独立した空間として活用することもできます。SCARTSスタジオ(ワークスタジオ)は、つなげて1室としても利用でき、ワークショップや講座、作品の展示空間としても活用できる多目的スペース。みなさんのアイデアでさまざまな活用してください。



『札幌市民交流プラザ』とは?

『札幌文化芸術劇場』『札幌文化芸術交流センター』『札幌市図書・情報館』からなる新施設。今回は作品展やワークショップなどに活用できるスペースが充実した、札幌文化芸術交流センターを紹介しします。

センターは文化芸術を通して札幌の「ひと・もの・こと」をつなぐことを目指し、市民の創造的な活動をサポートします!



市民交流プラザ開設準備室 文化芸術交流センター事業課 樋泉綾子さん

市民交流プラザ開館350日前フェスティバル

■10月22日(日)10:00~16:00 ■サッポロファクトリー アトリウム
コンサートやワークショップなど、開館後の事業をイメージした多彩なプログラムをご用意!ぜひお立ち寄りください。



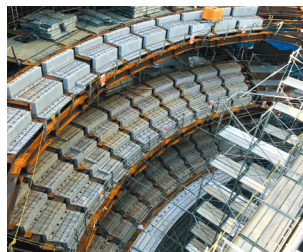
※画像はイメージです

工事現場レポート

建設中の現場をご紹介します

ホールの全体像が見え、ガラスの壁面がキラキラと街を照らし始めた『札幌市民交流プラザ』。今回は施工に携わる『大成建設JV』の副所長 千葉隆光さんに現場の様子と、音響へのこだわりをお聞きしました。

『札幌文化芸術劇場』の特徴の一つと言えるのが、壁面から突き出したバルコニー型の客席。奥行きは最大12mもあり、上下を柱で支えない構造となる。“はね出し”の工事では異例の広さ。この“はね出し”により、客席のライティング効果をアップさせると共に、より一層音の反射を良くする効果が期待されます。



馬蹄型の美しいカーブを描く、2階~4階の客席床部分。

音響面においても最上級の劇場を構築するために、劇場内部の10分の1サイズの模型(高さ約3m)を作成し、約3年前から音響設計士による音響実験をスタート。レーザー光であらゆる箇所の音の反射を確認し精密な実験を重ね、天井反射用の庇を増やすなどの改善を行った。現在は実験結果をいかして、ホール内の施工を進めています。



模型の中の客席に小さな人形を配置し、音の吸収まで忠実に再現した音響実験施設。

札幌の舞台鑑賞や芸術活動の動きに変化をもたらす仕事。多くの人々に集ってもらえるように、完成に向けて尽力します。



札幌創世1.1.1区 北1西1地区新築工事作業所 副所長 千葉隆光さん (大成建設JV)

イベントのご案内

もう、ワクワクは始まっています

オープンに向けてプレイベント開催中!

『札幌市民交流プラザ』の開館まで約1年。関連するプレイベントが予定されています。プラザオープンまでの間、文化芸術にふれるこの機会をぜひお楽しみください!

| まちなかコンサート~北区~ | まちなかコンサート~白石区~ |
|---|---|
| <p>■11月5日(日)14:00~(15:00頃終演予定) ■北海道大学総合博物館(1階ホール「知の交流」) ■入場無料(定員70名)先着順 ※当日、直接会場へお越しください。 ※定員に達し次第、ご入場を締め切らせていただきます。</p> <p>出演 大塚直哉(チェンバロとお話)</p> <p>曲目 リュリ(ダンゲルベル編曲):歌劇「アシスとガラテア」からシャコンヌ ヘンデル:歌劇「リナルド」から「涙の流れるままに」 J.S.バッハ:シャコンヌ 他</p> | <p>■11月25日(土)14:00~(15:00頃終演予定) ■白石区民センター(5階 区民ホール) ■入場無料(定員300名) ※要整理券・詳細はHPでお知らせします。</p> <p>出演 真貝裕司(カステネット) 山本聖子(ヴァイオリン) 小杉恵(ピアノ)</p> <p>曲目 チャイコフスキー:「白鳥の湖」より「情景」「スペインの踊り」 ファリャ:「恋は魔術師」より「火祭りの踊り」 他</p> |
| <p>出演 NHK-FM「古楽の楽しみ」案内役としても知られ、各地で活躍中のチェンバロ・オルガン奏者、大塚直哉さんによる演奏とトーク。「劇場」にちなんで、バロック期のオペラや舞踊の音楽を、北大総合博物館所有のポプラチェンバロによる温かい音色でお楽しみください。</p> | <p>出演 真貝裕司さん 山本聖子さん 小杉恵さん</p> |
| <p>プレイベントスケジュール(予定) ●2018年3月10日(土) バレエ入門講座 ●2018年3月頃 まちなかコンサート(南区)</p> | |

図書・情報館情報

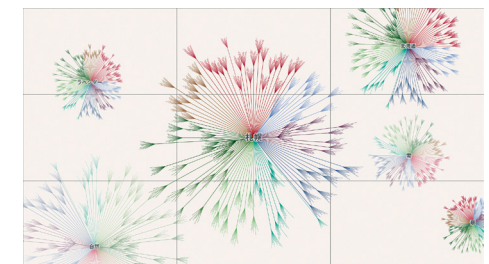
図書・情報館トピックス

ビジネス世代のための知的空間

1・2階の図書・情報館には、WORK(ビジネス)、LIFE(くらし)、ART(文化芸術)をテーマに、3つのジャンルの専門的な図書や新聞、雑誌が並びます。ビジネスパーソンがコーヒー片手に、調べものができる空間。おしゃれなソファで忙しい時間の中、ゆったりとしたひとときをお楽しみください。



まるでカフェのようなおしゃれな家具に囲まれ、リラックスしながら調べ物ができます。※画像はイメージです



図書館の書籍データ等を基にしたデジタルコンテンツ。※画像はイメージです

美しいCG画像の大型ビジョン

150インチを超える迫力の大型ビジョンでは、図書館や札幌市が持つさまざまな統計データをもとに作成した、美しいCG画像をお見せします。

こちらもチェック!

札幌文化芸術交流センターSCARTS「公募企画事業」を募集します

SCARTSコートやSCARTSスタジオ等を活用した企画事業(センターで施設利用料金等を負担)を募集します。詳しい条件や応募フォームはホームページ等でご確認ください。

「〜」ココロにウェーブを!キャンペーン #sapporowave

「〜」に見えるココロが動かされるモノ・コト・風景・シーン等を撮影した写真や、「〜」を使ったデザインを、InstagramもしくはTwitterから「#sapporowave」を付けて投稿してください。投稿された作品は、今後の広告展開で使用されるかも!みなさんからのワクワクする投稿、お待ちしております!

●応募期間/2017年10月1日(日)~11月30日(木) ※詳細はホームページ等でご確認ください。

ウェーブ「〜」フォト・デザインへ投稿!

詳しくはこちらへ

イベント等の最新情報は、札幌市民交流プラザのホームページをCheck!

次号は2018年2月頃の発行を予定しています。